

広報

あいそめ

AISOME

第6号

平成 26年 1月



絵：本井睦英

自主

自分のものとして考える

自立

自分の力で育てる

共働

一緒になって働く

共助

お互いに助け合う



公益社団法人

西都市シルバー人材センター

〒 881-0033 宮崎県西都市大字妻 1621 番地 (あいそめ館内)

電話 (0983) 43-0171 FAX (0983) 43-5801

新年のごあいさつ



理事長

丸山 美木生

新年明けましておめでとうございませう。会員のみなさま方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと、およろこび申し上げます。

当センターは公益法人へ移行して早いもので、2年を過ぎようとしております。その間事務事業の見直しを初め、国の行財政刷新会議の事業仕分により、補助金の減額等、大変きびしい状況に置かれています。

しかしながら国県市当局のご指導をいただき、役職員一体となり、就業開拓や会員確保に向け、円満な運営のため、全力を傾注する所存であります。

また、会員の方々におかれて

は、長年培ってこられた知識や、豊富な経験、更には能力に応じて、生きがいの充実と地域社会の活性化のために、少しでも貢献していただきますことを願っているところです。

最後に、会員各位におかれましては、穏やかなより良い年でありますよう心から御祈念申し上げます。



安全委員長

甲斐 栄次

新年あけましておめでとうございませう。二〇二四年も良い年でありませうように願いたいものであります。

平成26年度の補助金について、役員一同、市長に嘆願に行きました。市長より、平成25年度と同様の返事を頂きました。平成24年度より公益法人化になり、事業仕分けについて大変厳しい年になるようです。

また、西都の創生への実現に向けて努力してまいりますと話されました。私達シルバー人材センターの事業は、ますます社会貢献に力を入れ、市に信頼されるようにならなければならないと実感しました。

安全就業については安全委員、対策員、事務局、役員一同は、一丸となって事故“ゼロ”を目指します。会員の皆さん方には、安全に



対していつも気遣っていただきありがとうございます。本年度も、ご協力の程をお願い致します。

西都市シルバー人材センター事故報告では平成25年度は、重大事故は幸いにもありませんでしたが、傷害事故四件、賠償事故6件あり、事故が減りませう。

昨年の全国シルバー人材センターの、重大事故報告では、昨年一ヶ月で平均8件の報告がありました。くれぐれも注意して、就業をしていただくことを願います。

安全ルールの基本

イ 事故の撲滅に向けて気を引き締めて行こう

ロ 安全就業中、途上に十分注意を払おう

ハ 体調管理を第一に

市長あいさつ



西都市長

橋田 和実

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健かに平成26年の初春を、お迎えのこととお喜び申し上げます。

皆様方には、日頃から市政運営に格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、二〇二〇年オリンピックの東京開催決定という大変嬉しい出来事があり、日本国中が沸き立ちました。この記念すべき年に、本市は、市制施行55周年という節目の年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援、ご協力によるものと、深く感謝申し上げます。

さて、我が国では、世界に例を見ない速さで高齢化が進んでおり、来るべき超高齢社会に対する積極的な取り組みが求められ

ております。

本市におきましても、高齢化率が30パーセントを超え、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会参加の推進と、いった取り組みを進めているところであります。なかでも、高齢者の豊かな生活を実現するため、豊富な知識や経験を生かして、活躍いただける場を確保し、提供することが、重要な課題であると考えております。

このようなことから、高齢者の就業機会の確保・拡大を図り、高齢者が社会の担い手として活躍できる場を、提供されているシルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要となつてきております。

西都市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の就



業ニーズに応じて、就業開拓や新たな職域の拡大、就業機会の拡大に力を注がれており、就業を通じて高齢者の健康維持や社会参加の推進に寄与していただき、深く感謝申し上げます。

本市としましては、今後も、会員の皆様が活発な活動を継続できるような支援を行ってまいりたいと考えております。

今年、私が市長に就任して10年目を迎えます。今後も、魅力と活気にあふれ、誰もが幸せを感じる事ができる「元氣な日本」のふるさと西都に実現に向けて、皆様と共に取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、西都市シルバー人材センターの益々の発展と皆様のご健勝を心から御祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

おめでとう

そして

ありがとう

川崎 幸子

ひ孫の誕生おめでとう

天国からの贈り物

何と可愛いひ孫でしょう

病に負けず

元気で丈夫に育つてね

成麻ちゃん

愛翔ちゃん

ありがとう

これからもよろしくね



新年に思うこと

◎ 初笑

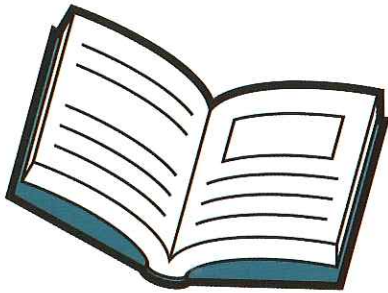
木下久美子

毎年、正月元旦の朝、今年こそはと思う事が一つありますが、一度も実行されていません。

私は、若い頃から小説を書くことが夢でした(笑)。会社に勤めていた頃、職場で趣味の合う友達と、月一回、本を出していました。

私は連続小説を書きました。残念ながら完成していません。年が新たになるたび思い出します。

しかし、年を取ると、記憶がうすれてきます。でも、今年こそはと思っと思っています。



お祝金の行方

水谷 喬

私は、古希の祝金を頂いて、有りがたく思っ居ります。このお金を何に使うか考えてみました。思いついたのが、シルバー人材センターの入会費にあてる事です。

会員になって楽しい毎日を送っています。仲間と仕事をすることによって、ボケ防止や頭の体操にも良く、体調も順調で、元気に過ごしています。

私は、自動車が好きです。85歳になったら、いろんな所にドライブするのが夢です。そしてあとは、ぴんぴんころりが願いです。

中小企業で頑張った方は聞いて下さい。今は自分の為に、夢と希望を持って、足腰を鍛えて寝たきりにならないようしましょう。



巳年の思い出

◎忘年会を振り返って

安藤 次男

平成25年も、残す所あと数日で終わろうとしております。一年の経つのは本当に早いものです。

ところで、西都市シルバー人材センターでは、11月25日、会員による忘年会が行われ、私も会員の一人として、参加をしました。酒席では、一年間を通じての仕事などについて良かった事、また、つらかった事等の苦労話等もでて、貴重な意見交換ができたのではないかと思います。こういう場を土台とし、役員そして班長さん方と、連絡をとりあって、働きやすい明るい職場作りの、支えとなるのではないかと思います。

今後とも、体に十分注意され、平成26年度も25年度同様に、盛大な忘年会が出来ますように、頑張ります。人との出会いを大切にすることを、本当の前進の場ではないかと思えます。

◎みんな芸達者だあ!!

池野 忠利

11月23日の忘年会は楽しかったですね。理事長、副理事長の挨拶、そして皆様の乾杯で始まり、最初は静かに飲んでいました。

アルコールが回ってくると、段々と、賑やかになり、楽しく話はずみましたね。カラオケも上手で、木下さんの踊りも面白かったですね。田原さんの踊りは本格的ですね。おひらきは、黒木さんの尺八でしんみりしました。皆さん芸達者で、本当に楽しい忘年会でした。

次年の忘年会が今から楽しみです。企画して下さいました。皆さん、本当に有難うございました。



◎故郷に思う

足立 忠義

大阪府摂津市より、57年ぶりに帰省して懐かしく、一番驚いたのは、JR妻線の廃線と西都市街地の活力が低下していることでした。

今、私が志を新たにしておりますのは、JR北海道が開発した電車の路線と一般道路の併用(DMV方式)の再開発で、街の活性化と若い人達が安心して定住していただけるのが、私の残された生涯の仕事と思いい、気持ちを新たにしておる今日この頃です。



短歌

羽田サツ子

切っても切っても終わらない
大根切り力つき果て限界だ

中園 洋子

イケメンを探すわけでもなく歩く
健康維持と長生のため

長友 正次

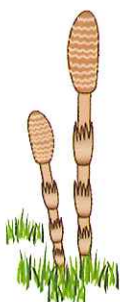
霜柱かじかむ手足動かせば
大地と大空味方する

俳句

松浦 初子

航空祭オスプレイひかる秋の空

霜柱足を取られる散歩道





質問

- ① あなたの毎日の健康法は？
- ② あなたの趣味はまたは得意なことは？
- ③ 最近うれしかったことは？
- ④ シルバー人材センターに希望することは？

年男

小森健二

- ① ↓ウォーキング・ラジオ体操
- ② ↓以前は歌を良く歌っていたので、今年はカラオケで練習したい。
- ③ ↓孫からのコピーメッセージ
- ④ ↓別ありません。

年女

黒木千洋子

- ① ↓家の犬のモ子ちゃんと散歩をしたり、庭先の花壇に花を植えたりしています。
- ② ↓野菜作りと、鉢植えのアジサイを育てる事です。
- ③ ↓孫が旅行に行つて、ばあちゃんの靴下とか、めずらしいお菓子など買ってきてくれました。
- ④ ↓元気であれば75才位までは働きたいので宜しくお願い致します。



会員募集

西都市内にお住まいで60歳以上の健康で働く意欲がありセンターの趣旨に賛同して頂ける方はどなたでも入会することができます。

☎ (0983) 43-0171 FAX (0983) 43-5801

平成25年度 役職員研修報告

研修先 公益社団法人伊佐市シルバー人材センター
鹿児島県伊佐市大口里

研修日 平成25年7月25日（木）

研修者 理事長外理事：7名、監事：2名、職員（局長）：1名

研修内容

1. 事務局体制について

(1) 職員 9人

- ① 正規職員 3人（事務局長、業務係長、庶務・経理係長）
- ② 嘱託職員 2人（業務担当、庶務・経理担当）
- ③ 臨時職員 2人（業務担当、庶務・経理担当）
- ④ 福祉・家事サービスコーディネーター 2人

(2) 伊佐市は、平成20年に、大口市と菱刈町が合併して誕生した市であるため、主たる事務所を大口地区に、従たる事務所を菱刈地区に設置している。

2. 市からの受託事業及び補助金等の交付状況について

(1) 市からの受託事業は、平成24年度59,000千円で契約金額の54.7%を占めている。

(2) 運営費として国庫補助金と同額の7,100千円と、特別財政支援金13,000千円（設立当初から）の交付を受けている。

3. 安全・適正就業への取組みについて

(1) 安全就業実施計画書を平成10年2月に策定、平成20年3月改訂

(2) 安全就業大会 - 毎年1回開催

(3) 就業現場パトロール月1回、7月中（安全就業月間）6～8回実施

(4) 安全就業の日、毎月第1・3水曜日現場で朝礼式（安全ワッペン着用）

(5) 各職群ごとの講習会を実施するとともに複数回安全就業だよりを発行している

安全意識を試してみましよう

こんな時、どうしたらよいか
より安全と思う項目をどれか一つ選んでみましょう。

☆疲れたら

- ①睡眠をとる ②休養する ③栄養をとる

☆出かける時

- ①黙って出る ②体調を確認する ③行って来ますという

☆仕事中は

- ①仲間と仲良くする ②安全に気をつける ③慣れていないから心配ない

☆熱中症について

- ①知らない ②知っている ③くわしいことは知らない

☆車の運転

- ①てげてげ運転 ②安全運転 ③酒気帯び運転

☆もし、病人・怪我人がでたら

- ①近所の人を呼ぶ ②救急センターやシルバー人材センターに連絡する
③看病する

時と場合によりますが、いざと言う時、臨機応変に行動できるよう心掛けておくことが大切だと思います。主に②の項目に重点をおきました。いかがでしたか？

急を要する場合 ☎ 119

そして

シルバー人材センターへ ☎ 43-0171

井上次長

☎090-8831-8031

中武(囑託)

☎080-1740-7665

深美局長

☎080-5252-7332



- ①就業前体調不良(就業が無理かな…)
- ②就業途上の事故等(事故に遭った、しまった…)
- ③就業中の事故・体調不良(早よ、知らせんといかん)
- ④就業後の事故(ゆっくり、帰っど!!)
- ⑤雷・突風・火災等(危ねえがな…)



事務局便り

○発注者からの作業依頼（直接）について

♥ 発注者から直接作業依頼があった時は

- ① 必ず、作業前に事務局へ連絡してください。
- ② 事務局の受付、発注者との協議等が無いと作業は出来ません。

○就業報告書について

♥ 就業報告書の提出は

- ① 作業完了後、3日以内に事務局に提出をお願いします。提出が遅れますと、15日の支払いが出来なくなりますので、ご注意ください。
- ② また、会員番号、氏名及び発注者確認印が無いものがありますので、確認をしてから提出してください。

○マナーアップしましょう

♥ 発注者や作業現場周辺の住民の方等から作業中や休憩中のマナーが悪い話がありました。

あ と が き

広報委員 中園洋子
羽田サツ子

新年のお慶びを申しあげます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、広報「あいそめ」も第6号を迎えました。旧佐土原町と西都市の合同の「社団法人西都・佐土原広域シルバー人材センター」から8年が過ぎたと言うことです。この時から西都市シルバー人材センターが一人立ちしたと認識しています。

その間、当センターは、「社団法人」から「公益社団法人」に変わりました。事務や事業の上で大変ご苦労があり、会員さんにも戸惑いがあったのではないかと、察してあります。消費税も4月から8%に上がります。難題は、まだまだ続きそうです。

最後に、今回の「あいそめ」の編集に際しましては、昨年の忘年会のこと、そして本年度への夢を熱くしたため、いただきありがとうございます。

そこで、提案ですが、全会員さんから一言でも寄稿していただけるよう「文章箱（一言箱）」を事務所に設置してみたら、どうだろうかと考えています。いつでも気軽に思いついたこと、感じたことを投函していただければ、無理がないと思います。

みんなですばらしい広報を作り、大いに宣伝して、シルバー人材の就業の場を拡大していきましょうよ。ひとりの力がみんなの力です。ご理解とご協力をお願いして後書きといたします。

